

極細糸使用防虫ネットによる 施設トマトの黄化葉巻病の防除

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業(課題番号:18002,平成18~20年度)
共同研究機関:(独)農業・食品産業総合研究機構 野菜茶業研究所他14機関

- ・タバコナジラミバイオタイプQは、トマト黄化葉巻病を高率に媒介し、生産に大きな被害をもたらします。
- ・本害虫は薬剤抵抗性が発達し、農薬のみによる防除が困難です。
- ・0.4mm目合の防虫ネットで効果的に施設への侵入を阻止できますが、施設内が異常高温になります。

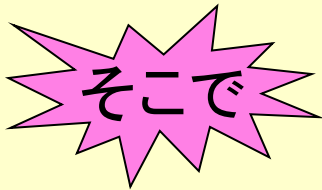


タバコナジラミバイオタイプQ



トマト黄化葉巻病 (TYLCV)

新たに開発された極細糸(ポリエチレン製、太さ110dtex)を使用した0.4mm目合の防虫ネットによるトマト黄化葉巻病の防除効果と高温抑制効果を明らかにしました。



極細糸0.4mm目合ネットは対照区(1mm目合)に比べ

タバコナジラミと黄化葉巻病を効果的に抑制する



極細糸ネットがトマトの病害発生、収量に及ぼす影響調査

空気攪拌のため循環扇を設置

注)本ネットのコストは約200円/m²で従来のものと大差ない

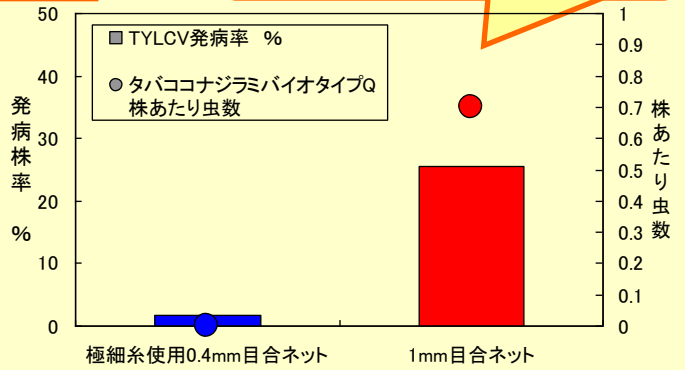


図1 極細糸防虫ネットが媒介虫とウイルス発生に及ぼす影響

極細糸0.4mm目合ネットは対照区(1mm目合)に比べ

施設内温度は同等である

収量・品質も同等である

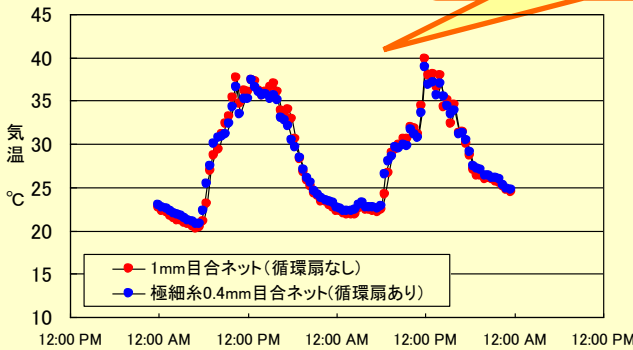


図2 極細糸防虫ネットによる施設内温度変化

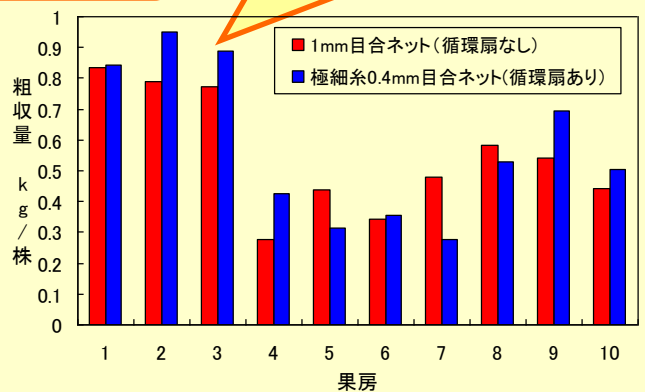


図3 極細糸防虫ネットがトマト収量に及ぼす影響

このネットは促成栽培トマトのコナジラミと黄化葉巻病対策に有効です

